



社会福祉法人

万葉の里

# KOCO・ジャム

## ともに創る ともに生きる

障害があっても、その人らしく、住み慣れた地域で生活する。  
そんな一人ひとりの思いを実現するために、万葉の里はともに考  
え、ともに創り、ともに生きていく社会福祉法人を目指しています。

## 「万葉の里 理念」

### ともに創る ともに生きる

私たち、万葉の里の理念は「ともに創る ともに生きる」です。この理念は、法人職員間で以下の解説を設け共通認識を図っています。

「私たちは、障害のある人ひとりひとりに合わせた支援を、また、その支援ができる体制（組織）を創り、それを地域にまで拡大し、誰もが住みよい街をともに創ることを目指します。

そして、地域との関係性を深めながら障害の有無を超え、利用者も職員も社会で生活する者として、ともに生きること、これらを実現することを共通の理念とします。

当法人には、週40時間勤務する職員、一日3時間勤務する職員、週1回夜勤勤務をする職員とさまざまな職種があります。ですが、上記にあげた理念を心に留め、障害のある方々に日々サービスを提供しています。初めて障害のある方と接する方にとっては、この理念がよく分からない、難しいなあと感じられる方もいらっしゃるかもしれません。でも、ご安心ください。研修や会議をとおして、先輩職員と話をすることで自分達の中で少しずつ咀嚼され、「こういうことかあ」と理解できる時が訪れます。その時まで、共に学び、共に成長していきたいと思っています。

## 万葉の里の3つの拠点

私たち、万葉の里は国分寺市内に3つの拠点を設けて事業を運営しています。一番大きな拠点、それは西国分寺駅より徒歩8分程の「国分寺市障害者センター（以下「センター」といいます）」です。このセンターでは、利用者と契約を結びご利用いただく事業を4事業、登録制で好きな時にご利用いただく、ご相談いただく事業が1事業あります。毎日約100名の方が利用され、職員も50人程働いています。

2つ目の拠点は、西武線恋ヶ窪駅より徒歩7~8分程のところにある「KOCO・ジャム」です。平成30年6月に開所を予定し、日中の活動を支援する事業「生活介護事業この里」と、地域生活の中核を担うグループホーム「共同生活援助事業ケアホームこの葉」を新たに運営します。「ケアホームこの葉」の中には、体験型の短期入所事業も併設しています。また、地域で生活をされている利用者にサービスを提供するヘルパー派遣事業「居宅介護事業所ウイング」、障害に関する様々なご相談を受ける事業「国分寺市障害者基幹相談支援センター」の2事業が移行して、装いも新たに運営をしていきます。

3つ目の拠点は、センターやKOCO・ジャムから少し離れた、国分寺市内の住宅地にあるグループホームです。ここでは、二つのユニットに12名の利用者が地域生活をしています。



## 理事長よりごあいさつ

KOCO・ジャム開所に当たり、ご挨拶を申し上げます。

地域の皆様には、工事中大変ご迷惑をおかけしました。

おかげさまで、大きな事故もなく開所することができました。これもひとえにこの地域の皆様のご理解、ご協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

私たち万葉の里は、平成15年に開設された市立国分寺市障害者センターを管理運営するために国分寺障害者団体連絡協議会、市内障害福祉関係社会福祉法人、国分寺市が協力して設立された社会福祉法人です。

以来15年間国分寺市障害者センターを管理運営してきました。（現在は指定管理制度により管理運営しています。）

この間に障害福祉制度は措置から契約制度（支援費制度）へ、法律も自立支援法から総合支援法へと改まり、国際的には、国連障害者権利条約を日本も批准し、障害者差別解消法など関連する国内法も整備されました。

こうした大きな変革期が終わって、今は、出来上がった制度や考え方を実現し、充実していく時期に来ていると考えています。

まさにこのタイミングでこの施設を、この東戸倉に立ち上げることができました。

多くの皆様がお住まいになっておられるこの地に建てることができたことは、私たちにとって本当にうれしいことです。

私たち法人の基本的な考え方に「地域社会との連携と協働」ということがありますが、まず、私たちは、地域の皆様と良好な関係を築かせていただき、地域の中で地域の皆さんにご理解いただきながら事業を実施する。このことを基本にしたいと考えています。

これから、地域の一員として、皆様からご信頼をいただけるよう職員一同努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



社会福祉法人万葉の里  
理事長 古橋 耕二郎

～「働く」を通して、自分らしい生活を創る～

『生活介護事業この里』では、「働く」ことをコンセプトにしていますが、それが事業の目的ではありません。ご利用者一人ひとりが、社会の一員として、地域の一員として「働く」ことを通して、達成感や所属感、充実感を得て、一人ひとりの自己実現を図っていきたくと思っています。

自分の役割を担い、仲間や地域の人々と共に協力し、必要とされる存在になっていく。そこから「生きがい」や「やりがい」が生まれ、やがて自信や自己肯定感となり、生き活きとした自分らしい生活に繋がっていくことと信じています。ご利用者一人ひとりが、自分らしさを見つけて、希望する生活を送るために、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、ご支援してまいります。

生活介護事業この里 1日の流れ

8:50 送迎開始	13:00 作業(余暇活動)
9:00 利用者受け入れ	14:00 休憩
9:30 朝礼/体操	14:15 作業(余暇活動)
9:45 作業	15:15 掃除/降所準備
10:45 休憩	15:40 終礼
11:00 作業	15:50 送迎開始
12:00 昼食準備/昼食/昼休み	16:00 降所



※余暇活動は月・水。月曜日は隔週でスイミングと生け花を予定しています。

活動内容

作業活動 作業を通しての取組

- ① やりがいを感じる。(仕事を通して自分の役割を担う)
- ② 地域とのつながりを持つ(野菜の販売・配達など)
- ③ 工賃の安定を図る(封筒作成、広告折り込みなど)

余暇活動 リラックスと楽しみの時間

- ① 創作活動(生け花、アート活動など)
- ② スポーツ活動(スイミング、体育館での運動など)
- ③ レクリエーション(季節の行事など)



～グループホームは、障害のある方々がともに生活し、  
地域でその方らしく暮らしていくための「家」です～



「住み慣れた町で暮らしたい」「施設ではなく、地域の中で暮らしたい」それは誰もが思う願いです。障害のある方々もそれは同じです。「グループホーム」はその願い、思いを実現することを目的としてつくられた障害のある方にとっての「家」です。「施設」のように大きな建物があって、その中で多くの方々が生活しているのではなく、一軒家やアパートをリフォームして数人、十数人の方々が生活しています。ケアホームこの葉の場合は、KOCO・ジャムの二階と三階部分にユニットを設定して、4～6名の利用者が一緒に暮らしています。

「集団での生活ではなく、「個人の暮らしがあり、利用者の皆さんは自分のペースでそれぞれの生活を営んでいます。」

～ケアホームこの葉はどんなところ？～

KOCO・ジャムの二階と三階部分の三つのユニットで、15名の方が生活しています。皆さんと一緒にご飯を食べ、テレビを観るリビング、利用者一人ひとりの居室があります。それぞれの居室には趣味のものやテレビ、DVDを置いたり、好きなアイドルのポスターを貼ったり、好みの飾りつけなどもできるので、リラクセスしてご自分の時間を楽しむことができます。平日の日中は、通所施設やお仕事に通う方、皆さんそれぞれです。休日は、ヘルパーさんと外出する方、ご自宅に帰られる方、皆さんが外出されて静かになったホームでゆっくりする方と、それぞれのご希望にそって過ごしています。



年間を通して、利用者の誕生日には誕生日会を開催し、利用者のご希望によりクリスマス会やお花見などの季節行事も行っています。

ケアホームこの葉をはじめとして、万葉の里のグループホームは笑いのたえない暖かな「家」を目指しています。

～KOCO・ジャム短期入所事業も併設しています～

将来地域での一人暮らしやグループホームを活用した生活を見据える方に、体験や経験を積むことができる場所や機会として、短期入所事業の居室を二床併設しています。ご利用いただく中で、利用者一人ひとりの障害特性やニーズを把握し、ご利用いただくことで培った体験や経験を次のステップに活かしていけるよう支援します。

## 居宅介護事業所 ウイング

居宅介護事業所 ウイングは、地域にお住いの障害のある方々が、安心して安全に暮らせるよう、必要な生活の支援を行うヘルパーを派遣する事業所です。

「居宅介護(家事援助・身体介護)・重度訪問介護・同行援護・移動支援・会員制ヘルパー派遣事業エル・育児支援」の各事業を行っています。障害のある方が、地域で暮らすには様々な手助けが必要となります。「ご利用者が自立した一人の人間として、その人らしく生きるためのお手伝いをする」訪問ヘルパーはそのような仕事です。

### ウイングの各事業のご紹介

◆**居宅介護(家事援助・身体介護)**：ご自宅に訪問して、生活に必要な支援をするサービスです。



◆**重度訪問介護**：重度の身体障害の方が地域生活をするうえで、必要な生活全般の支援をするサービスです。

◆**同行援護**：視覚障害の方が外出する際の支援をします。出先での視覚的情報の提供等を行うサービスです。



◆**移動支援**：知的障害や重度の身体障害・精神障害等の方が、安心して安全に外出し帰宅できるように付き添い、サポートするサービスです。



◆**会員制ヘルパー派遣事業エル**：万葉の里ウイングの会員制有料サービス aile(エル)です。制度では行き届かない部分を補うために必要な支援を行うサービスです。

◆**育児支援**：国分寺市子ども家庭支援センターからの委託により行うヘルパー派遣サービスです。育児全般における必要な支援を行います。

社会福祉法人万葉の里 ウイング  
電話番号：042-321-6600

## 国分寺市障害者基幹相談支援センター

障害や難病のある方が、地域で自分らしく安心して暮らすお手伝いをします。



### ①総合相談・専門相談

・暮らしのことや経済的なこと、将来的なこと、生活上の心配事などの総合的に相談できる窓口です。

### ②人材育成・ネットワークの構築

- ・誰もが暮らしやすい街を目指し、地域や関係機関との連携を強化します。
- ・市内の相談支援専門員を対象に、相談支援スキルアップ研修を実施します。
- ・他分野との連携強化を図るため、ネットワーク研修を実施します。
- ・国分寺市障害者地域自立支援協議会の事務局を運営します。

### ③地域移行・地域定着

・精神科病院で長期入院している方や入所施設での生活が長い方が、安心して地域で暮らせるように、関係機関と一緒に支援します。

### ④権利擁護・虐待防止

- ・成年後見制度の普及・啓発に努めます。
- ・虐待防止センターと連携し、虐待防止と早期解決に取り組みます。

### <営業日・開所時間>

開所時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30～19:00	●	●	●	●	●	▲	△

※土曜日は8:30～17:00まで。

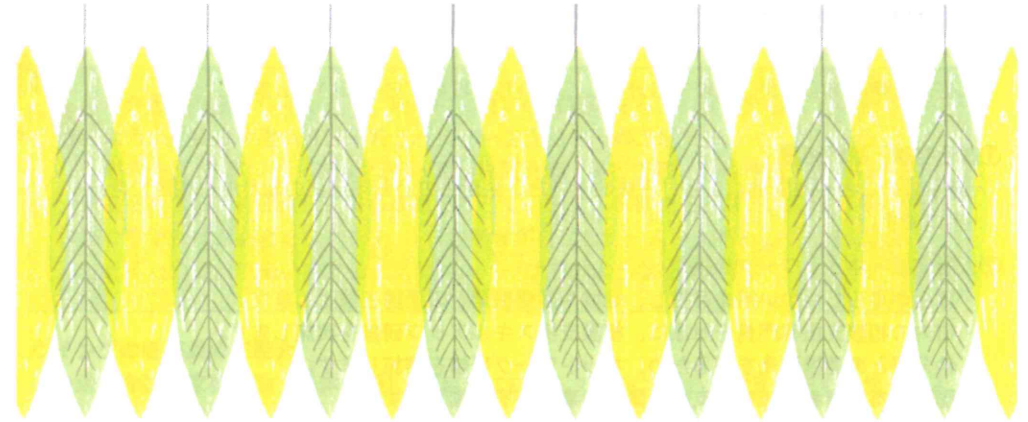
休業日	日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
-----	-------------------------



### <連絡先>

☎：042-320-1300 FAX：042-313-8823





【お問合せ先】



KOCO・ジャム

住所：〒185-0002

国分寺市東戸倉二丁目7番26号

電話：042-312-2728 FAX：042-313-8823

#### 万葉の里の名前の由来

萌黄色に緑、黄色、紅、大きい葉、小さい葉、<sup>よろず</sup>万の葉が集まり、万世に続く里を築く。わたしたちの法人もこの里のように、様々な障害のある方々が安心して生活を続けられるまほろばになりたいと願っています。

#### KOCO・ジャムの名前の由来

KOCO・ジャムは、国分寺市の障害のある方の「暮らす・働く・話す」をサポートする地域の中の支援施設です。「KOCO」は、国分寺と恋ヶ窪の「KO」、協同（Cooperative）の「CO」の頭文字をとっています。「ジャム」は、英語で「愉快的なもの」を意味し、「ここ」に集まった地域の人々が楽しく笑顔で交流しながら賑わっているイメージを表現しています。

